剣山

剣山の名前の由来の一つは、剣山中腹にある大剣神社の御神体「大剣岩（御塔石）」が剣のように鋭いという説。
もう一つは源平合戦の後、四国に逃れた安徳天皇が頂上北端にある大岩「宝蔵石」の下に宝剣を埋納したという説。
剣山と呼ばれる以前はこれらの大岩にちなみ「石立山」あるいは「立石山」であったと推則されている。

剣山植物群落保護林
剣山と次郎笈との稜線の北側、祖谷川の源流部。ここは昭和30年徳島営林署が買い入れた天然林。当時は名頃が森林開発の最前線となっており周囲の森林は大規模に伐採されていたが、この場所はかろうじて残された貴重な原生林である。

剣山と次郎笈。二つの山は一対の山にも見える。その昔、剣山も「太郎笈」と呼ばれていた時代がある。昔、「太郎」と「次郎」という二人の修験者が「笈」（おいずる）という背負い子を担ぎ、それぞれの山へ分かれて登ったことに由来するという話も伝わっている。

名水百選　剣山御神水（おしるみず）
剣神社の御神体である御塔石の根本より湧き出ていて、昔から神の水として崇められている。
石灰岩質のためミネラル分に富み長期間腐らず、病気を治す、若がえりの水ともいわれている。

御神水とびきりおいしい。ごくごく飲める。元気になれる。

深田久弥は「日本百名山」で剣山について「剣山の頂上は、森林帯を辛うじて抜けた山地でその広々とした原は、昼寝を誘われるようなのんびりとした気持ちのいい所であった」と述べている。

安徳天皇が平氏再興を願い天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）を納めた。

白髭山まで続くこの山道を明治の頃、たった一人で切り開いたのは熱心な剣山信者であった伊勢の安蔵と呼ばれた伊勢安佐衛門

天気が良ければ丈山や紀伊半島まで望むことができる。四国第3位の高峰。

山行 2023.8.12

国道439号
見っ越
剣山自然情報センター
見っ越駅 1420m
トンネル
剣神社
境内に「天涯の花」記念碑がある。
天然林の中を歩く登山道はスギの巨木や多彩な木もれ日すがすがしい森の香りがとても心地良い。
ブナ林
剣山リフト
昭和45年開通
西島神社
西島駅 1750m
テキサスゲート
刃掛けの松
杉坂神社
キレンゲショウマ
古剣神社
三十五社
カツラ
行場
西剣神社
鎖
大剣神社
天地一切の悪縁を断ち現世最高の良縁を結ぶ
大剣神社
御神体
御塔石
御神水
名水百選
剣山本宮
宝蔵石
頂上ヒュッテ
平家馬場
あわエコルレ
デッキ
木道
経塚森
剣山 1955m
360度視界が開らけ更快。
二度見展望台
トラバース道
大剣岩（御塔石）
次郎笈 かっこいい
ジロウギュウ峠
ジロウギュウ谷
トラバース道
三嶺 白髭山へ
分岐
次郎笈 (1930)m
奥槍戸へ
昭和59年旧木沢村が次郎笈の東山腹をトラバースし剣山とのコルに至る遊歩道を開設を計画。しかし山岳関係者の署名活動と木沢村の英断でルートは稜線を経由するものに変更され景観が守られた。
「四国の1000m峰」より

剣山は徳島を代表する山で日本百名山に名を連らね、石鎚山に次ぐ西日本第二の高峰。剣の名前に似合わず山頂はなだらかで優しい姿を見せてくれる。
平家伝説が伝わり、古くから修験道や信仰の山として栄え、風格に満ちている。

宮尾登美子さんの小説「天涯の花」で四国の霊峰剣山で誇り高く咲く花として描かれたキレンゲショウマ。山中にひっそりと咲く可憐な花に心を惹かれる。

樹林の中の心地よい道

剣山の最大の課題はニホンジカ対策。希少植物の絶滅を防ぎ、表面浸食による山腹崩壊になる前に、なんとかしなければ。

人に慣れているのか目の前で平然と植物を食べていておどろいた。

源平の戦の末に剣山の山裾に逃れた平家の武者たちが馬の調教としていたことにちなみ、山頂一帯は「平家の馬場」と呼ばれる。
山頂北端の宝蔵石には平家埋蔵金伝説もある。

新田次郎の記念碑
二の森
一の森（1879）m
バイカオウレン
シコクシラベ
一の森ヒュッテ
白骨林
槍戸山植物群落保護林
ゴヨウマツ
展望良好
三角点
三嶺も見える
剣山ビューポイント
国有林
ホラ貝谷
↓槍戸山へ

キレンゲショウマ

一の森から、丈郎と次郎その向こうに三嶺。みごとなロケーション。来てよかった。

2023.9.13
NO.133